

# 山梨大学教職員組合 **組合ニュース**

Tel (内線) : 8097 Fax: 254-2667  
e-mail: kumiai@nashidai-union.org

## **新執行部始まりました！**

### ☛ **第 70 回定期総会のご報告**

2019年6月24日、第70回定期大会が開催されました。

20人近くの組合員が出席し、2018年度の活動報告、会計報告、2019年度の活動方針と予算案などについて議論しました。年俸制の導入や、山梨県立大学との連携など、新たな大学の動きに合わせた課題も生まれることなどが確認されました。

山梨中央銀行から組合費を引き落としにする場合、1名につき半期ごとに108円(2019年12月の引き落としからは110円)の**振替手数料**がかかります。この件について総会で了承を得て、今年度は後期(12月)に一括して1人あたり218円、来年度からは半期ごとに110円ずつ徴収することになりました。

その後懇親会へと移り、和やかな雰囲気職員同士の交流を深めました。

### ☛ **第 1 回執行委員会のご報告**

2019年7月10日、第1回執行委員会が開催されました。

**団体交渉の結果を受けて**、内容と今後どのように対応していくかを整理し、今後組合ニュースで情報共有しながら、今年度の焦点を協議していくことになりました。また、定期的な活動等の役割分担や、法律事務所にお問い合わせの学習会や相談が可能であることなどを確認しました。さらに、副委員長の北村先生から、**組合 HP を充実**して、気軽に読めて組合の意義や起こっている問題などがわかるようにしていこうという提案がありました。

### ☛ **第 2 回執行委員会のご報告**

**団体交渉結果に向けての対応の下案**を、執行委員で作成することになりました。追って組合員のみなさまには、下案を組合ニュースでお知らせして、ご意見をいただくかたちで議論

を薦めたいと思いますので、よろしくお願い致します。

7月12日、**山梨県立大学の教職員組合との意見交換**が行われました。状況について共有しながら、今後労働条件の大幅変更を回避できるようにしていくことで合意したほか、方針の丁寧な説明や、現場の声を大事にするように申し入れていくこと、学習会などを開いていくこと、地域へ理解を求めていくことなどが課題として出てきました。

これを受けて、学内でも大学間連携について情報共有をはかっていくこと、については**学習会・意見交換会**を開くことが決まりました。

## 新委員長就任のごあいさつ

豊木博泰

もうやることはないと思っていた組合の執行委員長を15年ぶりに引き受けることになりました。このところ旗開きなど懇親会くらいしか参加していませんでしたので、組合の活動には「ぼけている」かもしれません、皆様のご要望に応えるべく努力してまいりますので、よろしくお願い致します。

残念ながら、ここ10年くらいの間に組合員の数は半分くらいになってしまいました。ほかの多くの組合も似たような状況なのではないかと想像します。どうしていったらよいのか、組合とは何をするとところなのかを、特に法人化以降の大学の状況や日本の労働、雇用環境を視野に入れ、みなさんとゆっくり考えていきたいと思っています。

組合はもちろん、歴史的にもそしてこれからも、賃金や労働環境の向上・改善を目指す労働者の組織であることには変わりありませんが、伝統的な営利企業の資本家と労働者という関係における労働者組織と、大学法人という教育機関での教職員組合とではその役割は少し異なっているのではないかと、伝統的な労働組合像にしばられず、教職員の横のつながりの組織の意義を考えてみたいのです。

パイがどんどん大きくなった高度成長期には、賃金上昇が労働者のやる気につながり、労働組合も元気でした。要求のしがいがあった時代と言えるでしょう。しかし、パイが増えない定常期にあっては賃金問題だけでは組合活動に活気を取り戻すことが困難であろうと思います。日本の教職員組合には、全大教も含め全国組織ごとに教研集会を開き、労働問題だけではなく教育研究活動それ自体の方法や運営組織の問題を取り上げました。本学においても、理事等の立場では思い至らない職場の課題と解決法を「現場」の立場で考えること、自分の利害だけではなく仲間を思いやり職場に活気をもたらす横の組織としての面をもっと重視

するのがよいのではないのでしょうか。そのような「語り場」を秋以降設けていきたいと考えています。こういう問題についてほかの人の意見を聞いてみたいというようなアイデアがありましたら是非お寄せください。

## 大学間連携についての学習会開きます！

山梨大学と山梨県立大学および山梨県の連携準備が進んでいますが、それぞれの部署で何が起きているのか、全体としては何が進行しているのかわからないという課題が、執行委員会で問題になりました。かかわりの深い部署と、そうでない部署があるのは当然ですが。組合としては、その部署の教職員が苦労したり、努力したりするのではなく、支え合っていければと思います。また、大学のあるべき姿や今後の方針に対して前向きな意見を組合として出していくためにも、情報を共有したいと思います。

つきましては、以下の日時に、学習会を開きます。みなさまお気軽に立ち寄って、連携に関してどんなことが起きているか、情報共有をしましょう。教育学域の現状については、教育学域長中村和彦先生に、また教養教育の連携については大学教育センターの時友裕紀子先生に、話題提供をしていただきます。

**全学に関わる問題です。ぜひ、非組合員も含めてお誘いあわせのうえ、ご参加ください！**

### 山梨大学・山梨県立大学・山梨県の連携に関する学習会

日時：2019年9月24日18時～

場所：サイエンスカフェ（工学部T1号館8階）

話題提供：教育学域長中村和彦先生 教養教育センター長時友裕紀子先生